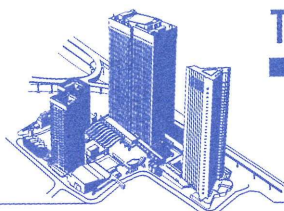




Rotary International

SERVICE Above Self  
超我の奉仕

2005～2006年度・国際ロータリーテーマ  
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



# THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

東京新南ロータリークラブ

No.887/2005.11.11

例会日/毎週金曜日12:30

例会場/東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8  
赤坂2丁目アネックス3F

Tel /03-3505-5976

Fax /03-3505-6004

E-mail/new-south@h9.dion.ne.jp

http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth

## Weekly Report

## 東京新南ロータリークラブ週報 「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京新南ロータリークラブテーマ/小杉修造会長

### ●本日の例会/2005年11月11日第908回例会

卓話

#### 「改革」としての郵政民営化法」

総務省大臣官房審議官 綱木雅敏氏  
(紹介者 四分一会員)

### ●先週報告/11月4日第907回例会

**会長報告:**①齊藤茂之会員は療養中のところ10月30日急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。齊藤茂之さんを追悼し全員で黙祷を捧げました。

②新会員の伊藤文武君のご紹介

#### 新会員のご紹介(2005年11月4日ご入会)



伊藤文武君

生年月日 1963年5月7日(42歳)

職業分類 不動産取引

事業所名 株式会社タリアセンハウス

役職 代表取締役

所在地 〒150-0021 渋谷区恵比寿西 2-2-6

EBIS-FIVE 404

TEL 3780-7048 FAX 3780-7049

Eメール fumitake\_ito@taliesin-house.co.jp

住所 〒108-0071 港区白金台 2-16-8

TEL・FAX 3441-3213

推薦者 荒木昭文君、小瀬雅亮君

**出席報告:**会員52名/出席30名・欠席22名(出席規定免除者6名)  
ビジター 2名

### お知らせ

「財団の友」ロータリー財団へお一人100ドル寄付を、先週例会より例会受付で募集しております。ご協力をお願い致します。

#### ポリオ撲滅「東京グレイス会・チャリティコンサート」

日時 11月21日(月)開場 13:00 開演13:30～17:00

場所 グランドハイアット東京 3F ボールルーム  
六本木ヒルズ TEL 03-4333-1234

チケット代 9,000円(30%がポリオ撲滅に寄付されます。)

※チケットお申込みは、11月11日までに事務局へお願い致します。

### 次年度(2006～2007年度)理事・役員候補者指名 指名委員会報告(大日方委員長)

クラブ細則第5条第1節によると12月第1週の例会日に年次総会を開催して、次年度理事・役員の選挙を行うことになっております。また、クラブ細則第3条第1節には「役員を選挙すべき会合の1ヶ月前の例会において、その議長たる役員は会員に対して会長、副会長、幹事、会計及び4名の理事を指名することを求めなければならない。」と規定されております。そして、クラブ細則第3条第2節には「第1条第1節の定める所に従い、役員及び理事の指名のための機関として指名委員会を設ける。指名委員会は会長により指名された委員により構成される」と規定されております。

指名委員会は、次年度(2006～2007年度)理事・役員候補者を、次の通り指名致します。

[役員]会長ノミネー(2007～2008年度)/小原 健

副会長/吉田 用親 幹事/石井 謙次

会計/松永 秀和

[理事]四分一 勝、清水 實、庄司 泰典、竹本 孝三郎

(敬称略)

### 会長報告

只今指名委員会より指名された候補者の他に、会員より推薦することが出来ます。他に候補者がおられましたら、12月9日の年次総会までに書面により会長へ提出して下さい。よろしく願い致します。



11月4日/10件22,000円/本年度累計466,500円  
多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

村山公士/故齊藤茂之学園長の葬儀にあたりまして、クラブの皆さまより多大のご配慮を賜りましたこと、感謝申し上げます。荒木昭文/伊藤さんの入会を祝して。小杉修造/財団の卓話をよろしくお願ひします。尾上寛/昨日の風の子会、横浜散策楽しかったです。岩上義明/昨日の風の子会、お疲れ様でした。打ち上げでは娘までご馳走になりありがとうございました。橋本年男/昨日は風の子会に参加しまして大変に貴重な体験をしました。小杉会長・田村委員長はじめ参加された皆さまお疲れ様でした。ここで一句、風の子の純な心の爽やかさ。福島賢哉/先週例会を欠席し申し訳ありませんでした。また、村山さん幹事を替わって頂き有難うございました。田村昭二/本日の例会を欠席いたします申し訳ありません。そして、昨日の風の子会本当にお疲れ様でした。吉岡琢磨/武内さんこんにちは、御苦労様、昨日は社会奉仕車いすボランティア御苦労様でした。武内光晴/紅葉がきれいになってくる時期となりました。たまには家族で出かけたいと思います。



11月はロータリー財団月間ですので、ロータリー財団について簡単に説明させていただきます。

### 1. ロータリー財団の使命

地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通して、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界の理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること。

### 2. ロータリー財団のプログラム

財団の使命である人道的、教育的、文化交流プログラムは、大きく下記の3種類に分けられます。

#### ①教育的プログラム

- 国際親善奨学金プログラム
- 国際問題解決のためのロータリー・センター・プログラム
- 大学教員のためのロータリー補助金プログラム
- 研究グループ交換プログラム(GSE)
- ロータリー平和および紛争解決研究プログラム

#### ②人道的プログラム

- 地区補助金
- 個人向け補助金(休止中)
- マッチング・グラント
- 3-H補助金

#### ③ポリオ・プラス・プログラム

### 3. 寄付の種類

ロータリー財団には2つのニーズと2つの寄付方法があります。その1つはポール・ハリス・フェローなどの年次寄付です。年次寄付は、財団プログラムを継続させるための燃料の役割を果たしています。毎年クラブと地区は、年次寄付の目標額を設定し、ロータリアンは毎年、これらの目標額を達成するために努力します。このような財団の継続的支援のことを「年次寄付」といいます。「年次」というのは、毎年続けられるからであり、3年後のプログラムに寄付金が使われます。また、1年に1000ドル以上寄付する会員は、ポール・ハリス・フェローと呼ばれます。その他に「毎年あなたも100ドルを」の年次寄付があります。100ドル寄付は、ポール・ハリス・フェローとして認証されるために一括1000ドルを寄付するのではなく、無理のない範囲で、1回目に100ドルを寄付し、1000ドルに達するまで随時寄付をするという制度です。年次プログラムへ毎年100ドル以上寄付する人は、「財団の友」会員と呼ばれ、クラブ会員全員が年次寄付を100ドル以上寄付したクラブは、100%財団の友クラブと呼ばれます。

2つ目は恒久基金です。元本には手をつけず、運用益だけを使います。年次寄付と恒久基金寄付は同時に重要であり、両方でお互いに補っています。年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日のプログラムを安定したものにします。この違いをロバート・バース元RI会長は「年次寄付は、毎日庭に水を撒き、花々に水分を供給するようなものです。恒久基金は、いつでも水が撒けるように、十分な水を用意している貯水池のようなものです。」と語っています。1000ドル以上寄付する会員は、ベネファクター(後援者)と呼ばれます。その他、恒久寄付には大口寄付、遺贈があります。

## ●次週予告／11月18日第909回例会

### ◎卓話予定「日本の助成団体について」

三菱財団常務理事 石崎 登氏

(紹介者 四分一会員)

10月29日に標記セミナーが東京アメリカンクラブで開かれ、カウンセラーとして次年度当クラブから送り出す奨学生の三橋拓樹君と一緒に出席した。出席者は、東京広尾RCの会長を始めとする会員の方々、最近帰国した奨学生、来年度留学する奨学生、また現在日本に留学中の国際親善奨学生、米山奨学生、国際平和奨学生、およびカウンセラーや奨学生プログラムに関係する人達であった。

プログラムは「ロータリー奨学金について」「カウンセラー体験談」「奨学生体験談とパネルディスカッション」等であったが、バイリンガルセミナーであるので、日本語は英語に訳され、英語は日本語に訳されるという興味深いセミナーであった。(ちなみに、広尾RCの例会はバイリンガルで行われる。)

当然ながら奨学生は皆優秀な人ばかり。ステンハマー RI会長も、青少年の健全な育成に寄与する奨学生の制度の向上をロータリー第2世紀の最も大きなテーマとして位置づけているということであり、まさに時宜を得たセミナーであった。

(カウンセラー 早川)

## 11月火曜会報告

会員齊藤茂之氏のお通夜と重なったため、出席者で黙祷を行った。

外部講師の渡邊龍男氏はインターネット関係の上場会社3社の役員を勤めているだけに、切れ味の鋭いお話をいただいた。同氏はコンピューター、プロジェクターを会場へ持ち込み「インターネットの過去未来10年と新興市場の企業の役割について」という題で話して下さった。

話の中心は今を去る11年前の1994年11月アメリカで行われたPC/IT関係の見本市「コムデックス」で、マイクロソフト会長兼CEOのビルゲイツ氏が行った基調講演の貴重なビデオを元に話が進められた。ゲイツ氏は10年後の情報社会がどのようなものになるか、シアトルの刑事ものの30分ドラマで解説をした。ドラマのタイトルは「Information at your fingertips 2005」。

ゲイツ氏が11年前に見事に予想した内容を検証していった。当時ではほとんど想像すらできないウォレットPC、自然言語認識、地図、ビデオフォン、電子商取引、自動録画テレビなど、今日では日常的に使われているものであることが、渡邊氏の解説により明らかになっていった。

また、渡邊氏はこの情報社会の出現を、人類の有史以来の4度目の革命であることを強調。革命は社会規模が10倍の人口を基礎にした場で成立するという仮説を解説された。今回の情報革命により出現する社会がそのような方向に進んでいることをデータに基づき検証した。ちなみに第1次革命はBC4000年頃の初期技術の出現、第2次はBC500年頃の文字(ギリシャ・アルファベット等)の出現(10万人の場)、第3次はAD400年頃の印刷技術出現(100万人の場)、そして今回のインターネット革命(1000万人の場)と続いている。次の革命は何であるか興味津々である。

今後、インターネット事業を中心とする若い新興市場企業群が大きくその役割を担っていくことを解説した。

出席者:武下、福島、塚田、尾上、竹本、松永、石井、西澤(民)

(西澤氏夫記)